

氏名	坂本 佳鶴恵 SAKAMOTO Kazue
所属	人間文化創成科学研究科人間科学系
職名	教授
学位	社会学修士（1984 東京大学）
専門分野	社会学、特に社会意識・文化論および家族・女性に関する研究
URL	
E-mail	sakamoto.kazue@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

コミュニケーション
アイデンティティ
メディア
家族・ジェンダー

主要業績

2011年 3月 「ファミリー・バイオレンスの特性をめぐってー社会学の視点から」『刑法雑誌』第50巻 第3号P396-405

2011年 3月 「女性・男性雑誌とジェンダー規範、ファッション意識ー首都圏男女への質問紙調査の分析」

研究内容 / Research Pursuits

1. ファミリー・バイオレンスが家族内であるために一般の暴力と異なる特殊性について、刑法学会で研究発表し、また論文を発表した。2. 首都圏でおこなった外見調査の結果を分析し、女性雑誌、男性雑誌とジェンダー規範との関係や、ファッション意識とジェンダー規範との関係について検討、論文にまとめた。

■ 教育内容 / Educational Pursuits

学部講義では、おもに社会的認識に関する理論、コミュニケーションに関する社会学の理論、メディア・文化論などの分析枠組みをつうじて社会意識とその変容を分析する理論と方法を講じ、ゼミでは、各自のテーマ発表と、前期は社会意識の分析、後期は身近な文化事象の分析を学ぶことを目的とした。大学院では、各自のテーマにもとづく個人発表を中心に議論をおこなった。大学院では、各自のテーマ発表のほか、院生と話し合っ
て決めたテキストを議論した。フーコーの『監獄の誕生』、ケネス・ガーゲン『あなたへの社会構成主義』を読み、議論をおこなった。学部では、各自のテーマ発表と、前期は身近な文化事象の分析、後期は感情の社会学と良質な社会調査分析を学ぶことを目的とした。ジョン・フィスク『抵抗の快楽』、E.ホックシールド『管理された心』を読み、議論をおこなった。大学院では、各自のテーマ発表のほか、院生と話し合っ
て決めたテキストを議論した。フーコーの『監獄の誕生』、ケネス・ガーゲン『あなたへの社会構成主義』を読み、議論をおこなった。学部では、各自のテーマ発表と、前期は身近な文化事象の分析、後期は感情の社会学と良質な社会調査分析を学ぶことを目的とした。ジョン・フィスク『抵抗の快楽』、E.ホックシールド『管理された心』を読み、議論をおこなった。大学院では、各自のテーマ発表のほか、院生と話し合っ
て決めたテキストを議論した。フーコーの『監獄の誕生』、ケネス・ガーゲン『あなたへの社会構成主義』を読み、

■ 研究計画

日本の女性雑誌について、本にまとめる予定で執筆中。

■ メッセージ